

小美玉市議会令和8年第2回定例会一般質問通告一覧

期日	質問順	質問者	質問内容
6月10日	代表 質問 1	創生小美玉 長津 智之	1. 子育て政策に関して (1)おみたまっ子応援パッケージ拡充方針・内容について (2)若者世代に選ばれる環境づくりについて
			2. 教育政策に関して (1)国際交流事業の継続化と波及について
			3. 医療・福祉政策に関して (1)定額タクシー「おみタク」について
			4. 交流政策に関して (1)羽鳥駅東口交流拠点・茨城空港前新交流拠点について
			5. 産業政策に関して (1)地域資源を活用した企業誘致について (2)地域経済圏の拡充について
			6. 交通インフラ政策に関して (1)大型インフラ構想の進捗について
			7. 農業政策に関して (1)農産物ブランド化について (2)農業従事者の担い手確保について
			8. 防災・防犯政策に関して (1)不安ゼロのまちづくりと地域防災の運用体制について (2)指定避難所(学校体育館)への空調設備設置の迅速化について
			9. スポーツ政策に関して (1)2期目でのスポーツ事業の位置づけについて
			10. スマート行政に関して (1)さらなる推進と「デジタル人材」の確保について
			11. 人材マネジメントに関して (1)市長の組織マネジメントについて
6月10日	代表 質問 2	真政会 村田 春樹	1. 20年後の小美玉市の将来ビジョンについて 市長は所信表明において、国道6号バイパスをはじめとする大規模インフラ整備を本市活性化の起爆剤と捉え、20年後の持続可能な未来の姿を描いていくと述べられた。人口減少社会において、本市をどのような自治体として発展させようとしているのか。また、その実現に向けて今後4年間をどのように位置付けていくのか。さらに、市長が描く20年後の小美玉市の将来像と、その実現に向けた道筋について伺う。
			2. 小美玉道路を起爆剤とした20年後のまちづくりについて 羽鳥駅前エリア、茨城空港周辺エリア、空のえき「そ・ら・ら」、霞ヶ浦・権現山エリアなど、本市の地域資源をどのように結び付けながら交流人口の拡大や地域活性化につなげていくのか。 また、小美玉道路（仮称）を活用した企業誘致、防災力向上を含めた20年後を見据えたまちづくりについて伺う。さらに、それぞれの地域資源を「点から線へ」「線から面へ」と発展させながら、市全体の魅力向上につなげていく考えについて伺う。
			3. 稼げるまち小美玉の実現について 茨城空港や広域交通網などの優位性を活かした企業誘致及び産業振興の考え方について伺う。また、本市の基幹産業である農業について、ブランド化や販路拡大を含めた今後の方向性について伺う。さらに、若者が誇りを持ち、一度市外へ出て帰ってきたいと思える地域づくりについて、市長の考えを伺う。
			4. 人口減少社会に対応する持続可能なまちづくりについて 人口減少や少子高齢化が進む中、防災・減災対策、DXの推進及び持続可能な行政運営をどのように進めていくのか伺う。また、市民が将来にわたり安心して暮らし続けることのできる持続可能なまちづくりについて伺う。さらに、市長が描く20年後の持続可能な小美玉市の姿について伺う。

小美玉市議会令和8年第2回定例会一般質問通告一覧

期日	質問順	質問者	質問内容
6月10日	3	谷仲 和雄	<p>1, 小美玉市新まちづくり構想実施計画（百里飛行場前エリア）新交流拠点整備について</p> <p>(1) 新交流拠点 年間の運営収支▲2,382万円（試算）の捉え方について、お聞きします。</p> <p>(2) 新交流拠点整備に向けた事業実施財源のスキームについて、お聞きします。</p>
			<p>2, 行革・DX推進について</p> <p>(1) AIを活用・使いこなすデジタル人材の育成においては、「知る」・「体験する」・「行動する」・「満足する」といった複数の体験を鎖のようにつなぎ合わせる体験鎖設計による、小さな成功体験の積み重ねによる人材育成が最適とも考えますが、市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 公共施設の最適化について、目標値に至る過程において、各施設の運用に照らし合わせた進捗管理という視点も必要と考えますが、市の見解をお聞きします。</p>
			<p>3, 霞ヶ浦沿岸地域における風水害リスクマネジメントについて</p> <p>新たな防災気象情報が、5月28日のシステム切替後から、順次、運用開始となります。また、5月30日、防災意識の高揚と防災行動力の向上を目的に霞ヶ浦沿岸地域の浸水想定区域を対象とした防災訓練が実施される予定です。</p> <p>これを踏まえ、流域治水への取組みをはじめ、霞ヶ浦沿岸地域における風水害リスクマネジメントを、どのように捉え、進めておられるか、お聞きします。</p>
			<p>4, 小美玉市財政の持続可能性について</p> <p>小美玉市財政の持続可能性をどのように担保していかれるか、市の所見をお聞きします。</p>
6月10日	4	山崎 晴生	<p>1) おみタク事業の制度設計と移動弱者支援施策の今後の方向性について</p> <p>本市では高齢者等外出支援事業（タクシー券制度）に加え、定額タクシー「おみタク」実証運行事業を開始しています。一方で、移動に課題を抱える方は高齢者だけでなく、障がい者や妊産婦など幅広く存在しています。</p> <p>そこで、おみタク事業の制度設計の考え方と移動弱者支援施策の今後の方向性について伺います。</p> <p>①おみタク事業と既存制度との役割分担について</p> <p>②おみタク事業における対象者設定の考え方について</p> <p>③移動弱者支援施策の今後の方向性について</p>
			<p>2) 市職員の定年延長と組織運営について</p> <p>地方公務員の定年延長制度により、本市においても定年年齢の引上げが進められています。制度の趣旨である知識・経験の継承や人材活用を図る一方で、組織運営や人材育成への影響も考えられます。</p> <p>そこで、本市における定年延長制度の運用と今後の組織運営について伺います。</p> <p>①役職定年後の職員配置の考え方について</p> <p>②若手職員の育成及び昇進への影響について</p> <p>③経験豊富な職員の活用と今後の組織運営について</p>
			<p>3) 石油化学製品供給不安に対する本市の対応について</p> <p>近年の国際情勢や物流環境の変化により、石油化学製品の供給不安が懸念されています。石油化学製品は医療・福祉・保育・建設・インフラなど幅広い分野で使用されており、供給停滞は市民生活や行政運営へ影響を及ぼす可能性があります。そこで、本市の認識と今後の対応について伺います。</p> <p>①石油化学製品供給不安に対する本市の認識について</p> <p>②供給危機を想定した対応体制について</p> <p>③今後の実態把握と関係機関との連携について</p>
6月10日	5	宮内 勇二	<p>1. 農業経営の安定と物価高騰支援について</p> <p>(1)今年の米価が不安視されているが、市内の作付け状況について</p> <p>(2)農業生産資材等高騰対策支援について</p> <p>(3)市の今後の考え方について</p>
			<p>2. 農業用施設の盗難対策について</p> <p>(1)近年の発生状況について</p> <p>(2)今後の方針について</p>

小美玉市議会令和8年第2回定例会一般質問通告一覧

期日	質問順	質問者	質問内容
6月11日	6	鬼田 岳哉	1. おみたまっ子応援パッケージのさらなる拡充について (1)産後ケア制度の拡充に向けて ①周知対策 ②使いやすさ対策（金額・交通） ③使いやすさ対策（システム） (2)第1子の保育料負担軽減について (3)高校生の通学補助制度について
			2. 羽鳥駅東口新交流拠点について (1)現況および今後の見通しについて (2)想定される施設の機能・役割について (3)官民連携の事業スキーム構築手法について (4)市民への情報発信・説明機会の創設について
			3. 産業振興諸政策について (1)企業誘致事業について ①適地選定調査結果をふまえた今後の取り組みについて ②宿泊企業誘致調査以後の誘致に向けた現況について (2)中小企業支援事業について ①創業支援事業について(継続質問) ②事業承継事業について
			4. 市民の生命と財産を守るために（消防力の強化に向けて） (1)火災予防の啓発強化について ①本年の火災増加について(原因・傾向、火災件数・出場件数・今後の見立て) ②誤報等への対応と消防活動への影響について ③今後の火災予防の啓発について (2)消防組織の強化と機能拡充について ①消防職員の充足状況について(消防力の整備指針との比較等) ②消防職員の採用と人材育成について ③消防団の機能強化について
6月11日	7	鈴木 俊一	1 教育現場の状況について ①スポーツの体験格差について ②入校管理について ③小学生の登下校の現状と課題について (1) 市内全体 (2) 美野里地区 ④小中学校での防災訓練について ⑤小学校・中学校の卒業後の進路状況について ⑥子ども会の現状と課題について
			2 災害時の小中学校における避難所の機能について ①備蓄品の確認について
			3 職員管理について ①開庁時間の変更にあたっての課題について ②カスタマーハラスメントの現状について ③職員採用について (1) 採用試験の状況について (2) インターンについて (3) 市の望む職員像について ④子連れ出勤について ⑤避難訓練について

小美玉市議会令和8年第2回定例会一般質問通告一覧

期日	質問順	質問者	質問内容
6月11日	8	戸田 大我	<p>1. 市の子育て支援策の拡充状況とPRの状況について 周辺自治体では、今年度より新たな子育て支援策が大きくニュースで取り上げられるなどしている。この件について、本市の状況を伺いたい。 ①本市の子育て支援策の拡充の進捗状況について ②子育て世代の支援策のPRの状況について</p> <p>2. 下校時の熱中症対策について これまで市の熱中症対策に関して多くの議員から質問要望がなされており、市も対応を重ねてきているところであるが、改めて今年度の対応状況を伺いたい。 ①今年度の対策の内容について ②保護者の迎いの協力要請などの状況について</p> <p>3. 令和8年4月の自転車の交通違反取締り強化に伴う、市民の不安への対応と安全確保について ①この件についての市民からの問い合わせの状況について ②警察との情報共有・連携の状況について ③取締り方針内容の市民への周知方法について ④自転車の安全運転に対する市民への啓発の状況について</p> <p>4. 令和8年度の国の地方創生伴走支援対象団体に選定されたことについて ①令和7年度支援を受けた他自治体の事例や成果について ②伴走支援を受けるテーマの内容・予定について ③見込まれる成果や期待される効果について</p>
6月11日	9	内田 和彦	<p>1有害鳥獣対策の強化と将来を見据えた人材育成について (1) 有害鳥獣対策は行政課題としてとらえた時に、特に「自治体職員自らが地域課題を理解し、現場感覚を持つことは極めて重要」 ①有害鳥獣被害の現状認識と今後の危機感について伺います。 ②捕獲従事者の高齢化と担い手不足への対応について伺います。 ③免許更新費用等の経済的負担軽減について伺います。 ④行政職員の資格取得促進について伺います。</p> <p>2自転車交通ルール改定に伴う交通安全教育の充実について (1) 今年4月に改定された自転車の走行に関するルールについて、これまでの交通安全教室の実施状況と、今後の対応について ①小中学校における安全教室の現状と課題について伺います。 ②自転車交通ルール改定に伴う安全教育の見通しについて伺います。 ③家庭・地域と連携した自転車安全対策の推移について伺います。</p>
6月11日	10	真家 功	<p>1. 茨城空港の機能強化及び小美玉市新まちづくり構想実施計画（百里飛行場前エリア）について (1) 茨城空港の機能強化についてどのような影響があると認識しているのか。 ①現状・課題をどのように受け止め、今後どのような方向性で進めていくのか。 (2) 新交流拠点施設を整備するにあたり、利用するターゲットをどこにおいて、茨城空港や百里基地とどのように連携強化をしていくのか。</p> <p>2. 地域経済活性化対策について (1) 茨城空港を活用した企業誘致及び地域産業振興について ①茨城空港を活用した企業誘致について、本市はどのような可能性を有しているのか。 ②物流、食品関連産業などとの連携についてどのように考えているのか。 (2) 茨城空港を活用した観光振興及び交流人口拡大について ①本市における空港利用者を市内観光へ誘導する取り組み状況 ②地元農産物や特産品等のPR・販売促進方策。 ③インバウンド需要を見据えた今後の観光施策。</p>

小美玉市議会令和8年第2回定例会一般質問通告一覧

期日	質問順	質問者	質問内容
6月12日	11	島田 清一郎	<p>1. 水道事業について 県企業局の下で、各市町村で行う事業運営を統合し、経費の削減を図るとして進められている。 進捗状況と、安く抑えられている小美玉市（玉里地区以外）の水道料金がどうなるか。 市の見解を伺う。</p>
			<p>2. 下水道事業について 小美玉市生活排水ベストプランにおける短期計画の最終年度が令和8年度であり、今後の計画として未整備区域の整備と農業集落排水施設の公共下水への編入整備が書かれている。美野里地区北部（堅倉・西郷地・橋場美・小岩戸・柴高）の整備計画時期と整備には多額の財源が必要になるがその調達について伺う。</p>
			<p>3. こ線橋の除草について 羽鳥地内に常磐線を跨ぐ都市計画道路のこ線橋があるが、歩道の縁石のつなぎ目と舗装のつなぎ目に雑草が生え、年々面積と繁茂が増えています。 この管理について市の見解を伺う。</p>
			<p>4. 住みよきランキングについて 総合計画の施策目標のなかで東洋経済新報社が公表している「住みよきランキング」の総合評価の順位を策定時（R3年度）454番、目標値（令和9年度）で300番にする とされているが、昨年は668番でした。 市はこの順番をどのように把握分析しているか伺う。</p>
6月12日	12	福島 ヤヨヒ	<p>1 新まちづくり構想と既存施設の今後について (1)新交流拠点について ①市民の声(ニーズ・アンケート)をどのように捉えたか ②市民説明会の今後と実施していく中での課題 (2)既存施設のこれからをどう考えていくのか、市民活動の支え方はどう進むのか</p>
			<p>2 行政区の在り方についてすべての市民に情報提供を (1)行政区の現状と課題は ①全世帯数と加入率について ②社会福祉協議会加入数、消防費負担者数は ③行政区退会者への対応は如何に ④課題解決のための対策は</p>
			<p>3 引きこもり支援対策 (1)引きこもり対策の構築に向けて ①実態の把握はできているか ②若者世代、中年層、高齢者の孤立化対策は ③孤立させないための支援強化を</p>
			<p>4 百里基地でのミサイル配備計画について住民説明を (1)防衛省の計画では2027年に百里基地のF2戦闘機20機に長射程ミサイル搭載計画が進められているが、市民に対し説明と不安を除く対策を願う</p>